

# プレパート レポート



6/23  
(日)

雨からのスタートとなった今回、まずはティピー型のテントを張りました。オレンジ色が映えるテント内は竹が柱の役目と、鉄棒の役目を果たします。こどもたちの基地となったこのテントは、小動物のように棒に登ったり降りたり、おやつを食べるこどもたちの笑い声で沸き返りました。

また、焚き火の上にも雨よけのタープとして、同じくオレンジ色のビニールシートが貼られました。4本の木々と真ん中の竹を支点にしたこのタープは、雨にも風にも揺らがず、火にあたる人々を雨から守ってくれました。平らに張られた天井からは雨がしたたることもなく、煙をとどめることもなく、快適なリビングとなりました。

推進委員の強矢さんが持ってきて下さったじゃがいもと玉ねぎは前回からリクエストのあった食材。じゃがいもは濡れた新聞紙とホイルに包み、玉ねぎはそのままホイルに包みました。作業には子どもたちが積極的に関わって、焼き上がりはとてもジューシーでした。稲葉さんにお持ちいただいたバターも好評でみんな一つペロリ、美味しくいただきました。



クラフトではビー玉迷路と、紙皿を使ったドリームキャッチャーの材料を用意しておきました。好みの板に釘を打ち付けて、ビー玉の行手を阻み、釘にセットしたビーズに当たるとコロコロとかわいい音を立てます。子どもたちはビー玉落下防止壁を取り付けたり、オリジナルのイラストを描いて仕上げていました。

また紙皿を活用したドリームキャッチャーは、くり抜いた中心部に毛糸を渡して星形にし、下に3本の紐をたらしめます。ここでも下着したビーズはオレンジ系、ピンク系、ブルー系のボトルに分けておきました。いつでも使いやすく気持ちのいい材料で、大人の目にも楽しい色合いが注目を集めていました。

予定されていた色水遊び、光の遊びは延期されました。



焚き火はこどもたちに定番の存在となりつつあり、「火おこしたい人～」という声とともにドドドッと数人が駆けつけました。マッチデビューとなる子も最初は恐る恐る擦っていましたが、「いいぞいいぞ!」「その調子!」と周囲に声をかけられて無事点火。満足そうな表情を浮かべていました。その場にいたこども全員が点火を体験、拾い集めた枝や竹を火にくべ、時折ホイルの野菜をひっくり返していました。

ハイライト/



初体験の子をどんどん先にやらせて上げた火おこし  
「がんばれ～」「こわくないよ」  
がんばった本人と、優しく応援できた子達に拍手！